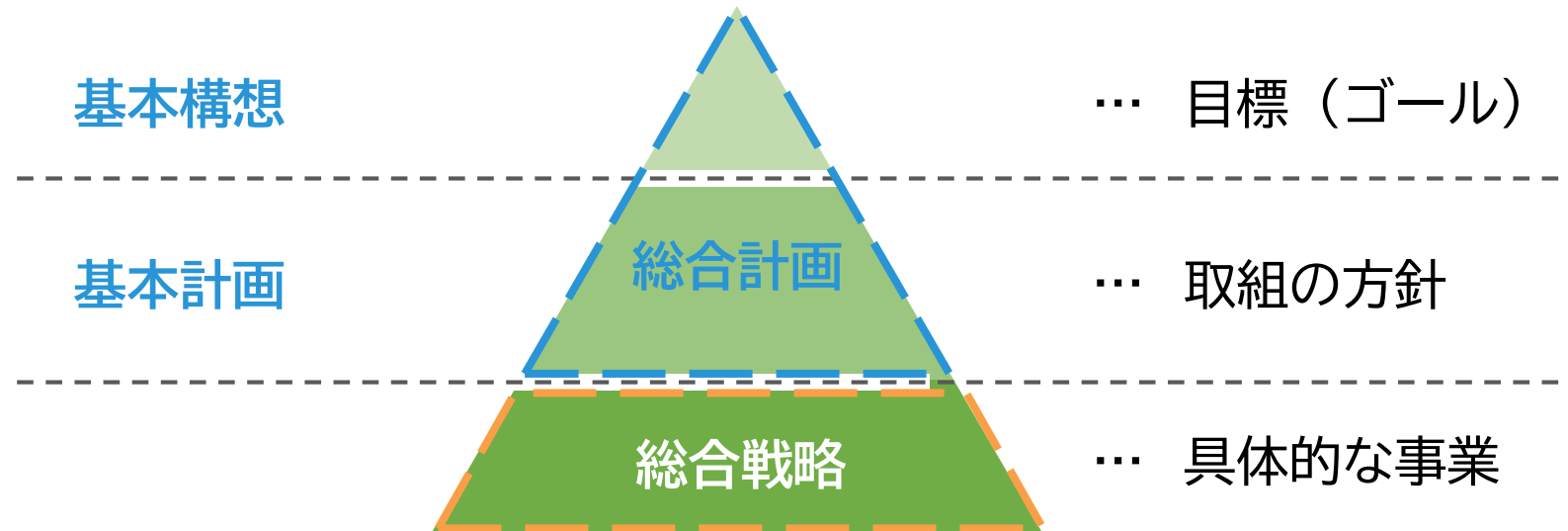


次期総合計画と次期総合戦略について

ポイント

- 総合計画と総合戦略の対象範囲を明確化し、それぞれの計画の連動性を向上させる。
- 事務事業のうち、重点的に取り組む事業を次期総合戦略として取りまとめる。

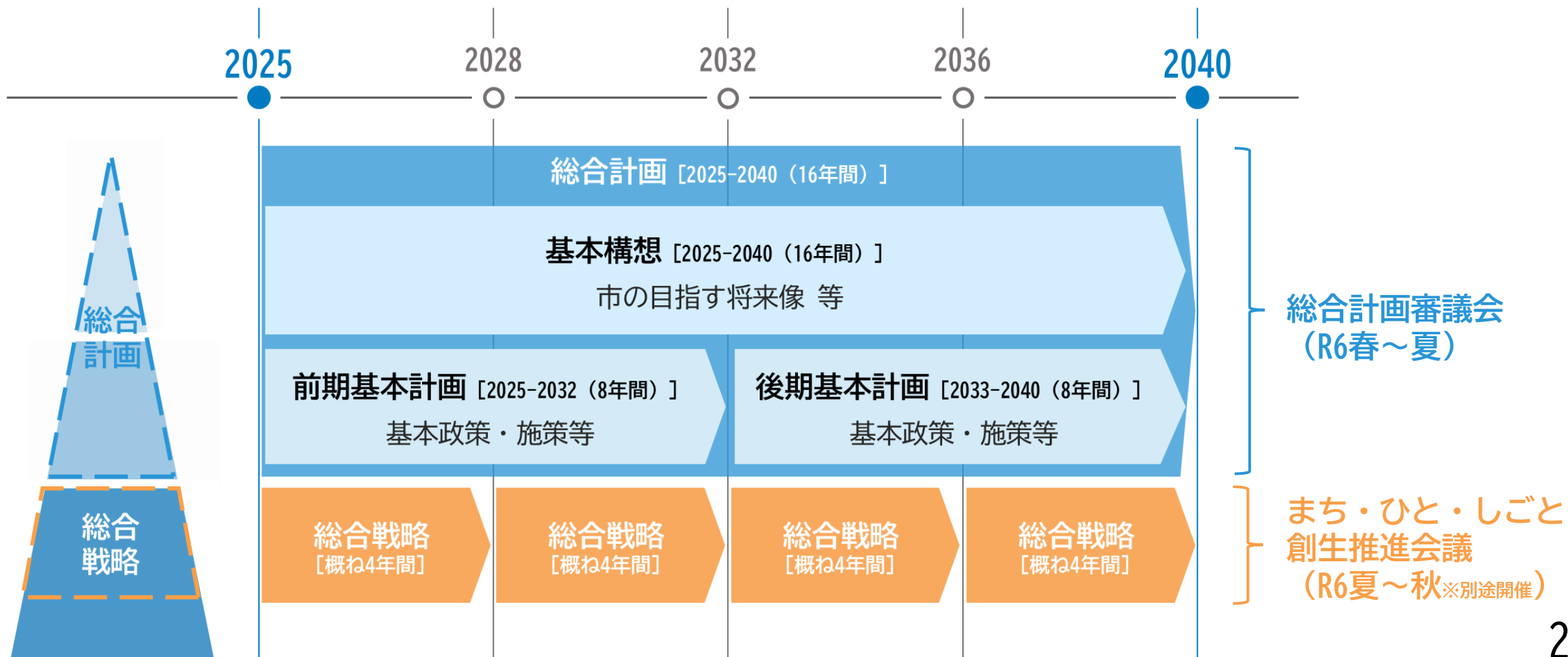


総合戦略を総合計画の
実施計画として位置づけ、
重点的に取り組む事業を選定、体系化

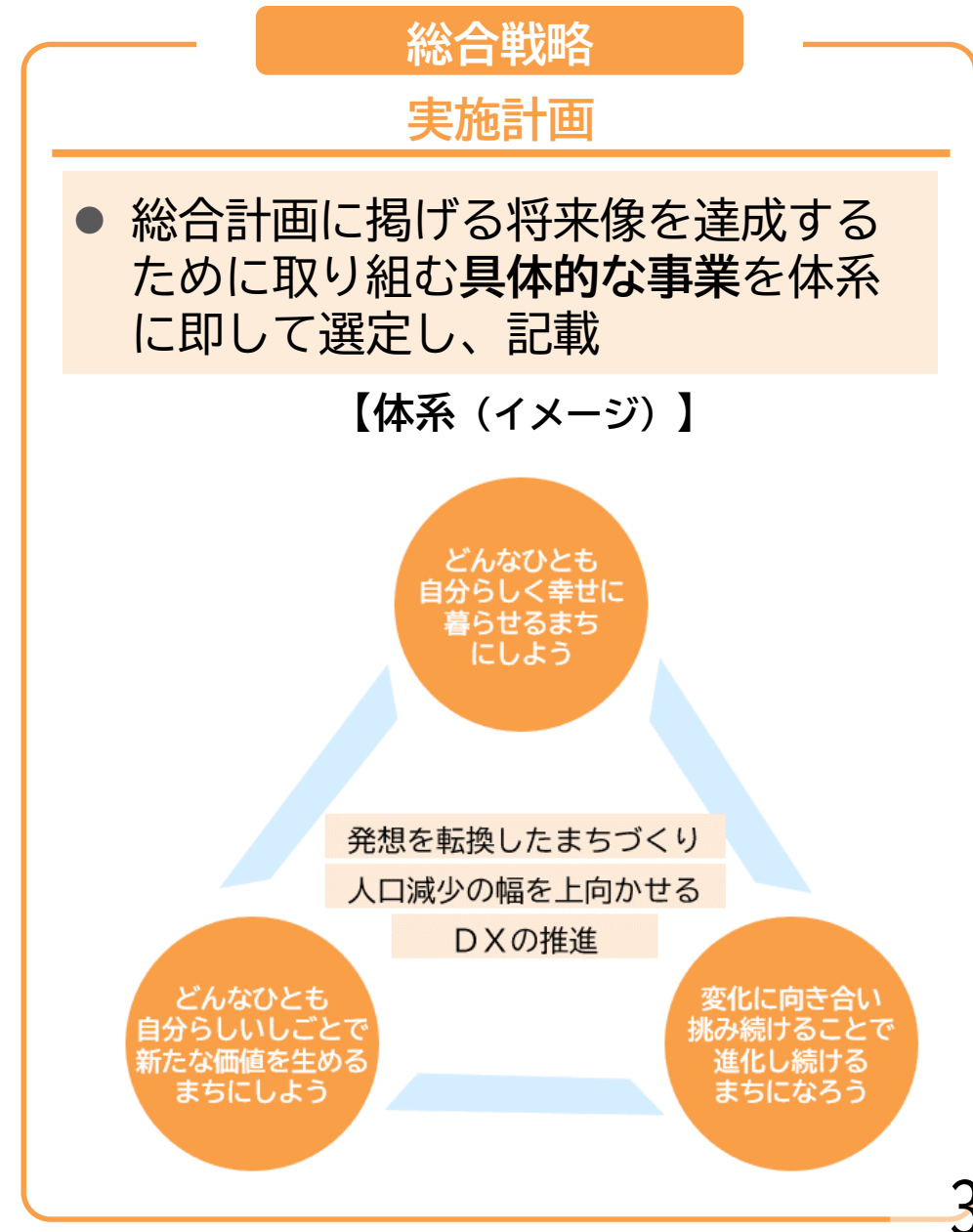
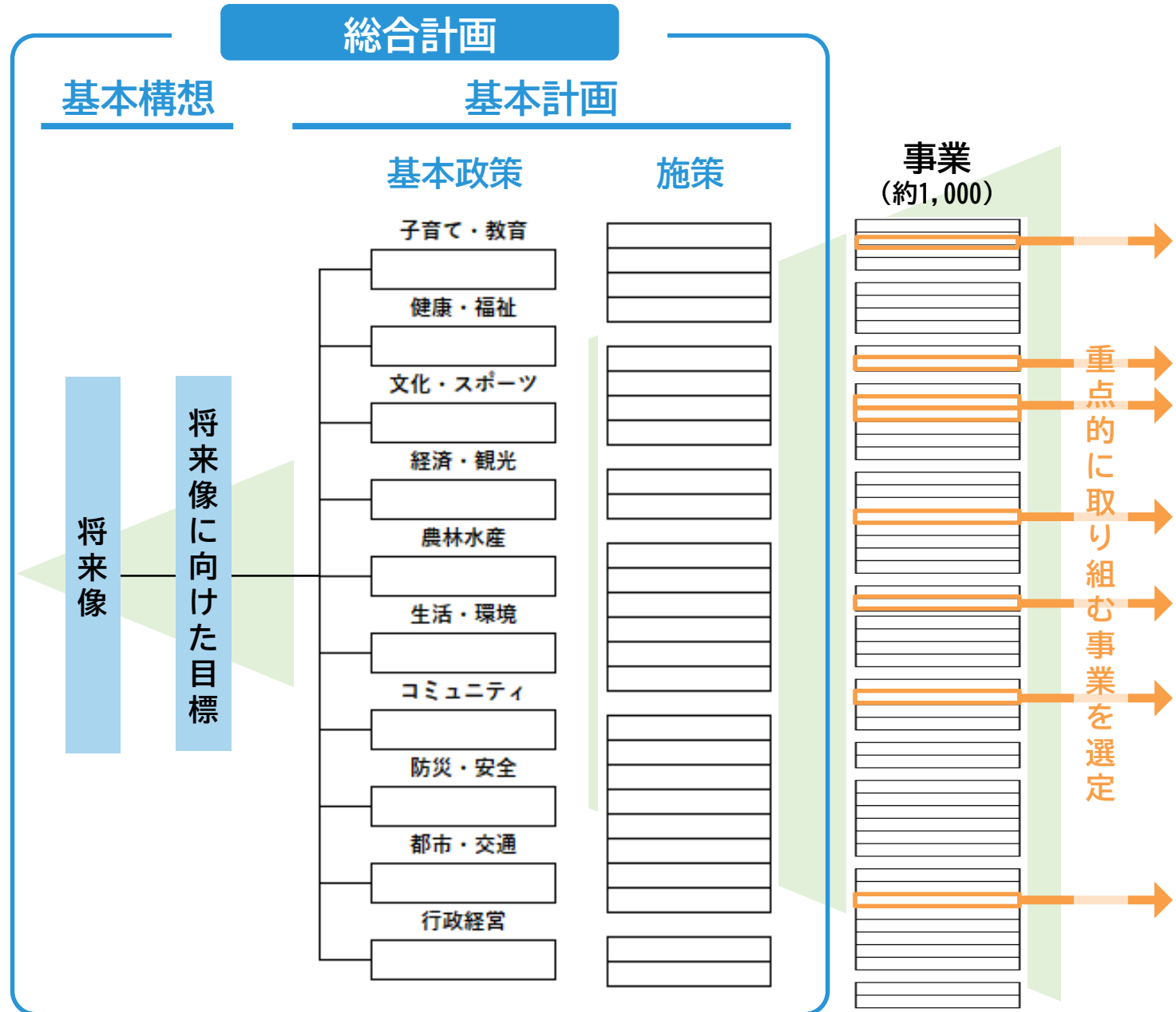
計画及び戦略の期間

ポイント

- 次期総合計画は**16年計画**とし、**2040年まで**を計画期間として設定
- 次期総合戦略は**概ね4年計画**とし、社会情勢等に柔軟に対応しながら見直し



次期総合計画に基づく取組の体系について



次期総合計画・総合戦略に基づく取組の例（行政経営）

総合計画

基本構想

将来像

目標

佐賀らしさでみんなが上を向くまち（仮）

変化に向き合い挑み続けることで
進化し続けるまちになろう

基本計画

基本政策

行政経営

〔めざす姿〕

OPENなしせい（市政・姿勢）で挑むまち

施策

信頼される持続可能な行政運営

〔めざす姿〕

市民は、選択と集中による質の高い行政サービスに満足し、行政運営を信頼している。

取組方針

市民のライフスタイルやニーズに応じた窓口等の行政サービスを構築するため、技術の進化に対応した変革を続けていきます。

事業

総合戦略

実施計画

重点的な取組

- ・ 窓口での「書き方が分からない」「時間がかかる」といった問題を解消し、便利で簡単で早い窓口を目指します。
- ・ 自宅で簡単に手続きができる市役所への取組を推進します。

具体的な取組

- ・ スーパーアプリの機能拡充
- ・ 窓口DXの推進
（フロントヤード改革）
- ・ オンライン市役所の構築